



止まらない物価上昇
上がらない実質賃金
これでいいのか？私たちの

賃金

その①

賃金＝「労働力の再生産費」です！

そもそも賃金とはどのようなものなのでしょうか？

本来「賃金」とは儲けの分け前でも「労働の対価」でもありません。「労働」とは、「労働力」を發揮した結果です。

なぜなら、労働の対価であれば同じ業務をしている人は同じ賃金になるわけですが、そうはなっていません。そこには、労働者が生きていくための要素が入っているからです。

私たちは、仕事をする能力「労働力（労働能力）」を提供することで賃金を得ています。

私たちが自覚しなければならないのは、自らの持っている労働力の価値で労働力の再生産が出来るように高く提供することです。

賃金を構成する要素として「3つ」あります。

①「次代の労働者を再生産する費用」

結婚し、家族を養い、次の労働力の担い手である子どもを育てる費用や恋人とのデート費用です。つまり、社会を維持していくために新たな労働者を育てていく費用も含まれています。

②「衣食住と娯楽の費用」

労働者が労働力を提供するために、体を維持する費用です。1ヶ月働き、次の1ヶ月も働けるよう「住宅」「食事」「衣服」「レジャー」などを楽しむことができるための費用です。

③「社会に対応するための教育・学習費用」

現在、職場では新システムやタブレット端末が導入され、技術革新が進んでいます。私たち（労働者）自身が技術革新などに対応できるように教育を受けたり、学習したりする費用です。



基本給が上がらなければ、将来にわたる生活は良くなるらない！
全員一律のベースアップを求め、23春闘をたたかおう！

